

つくば市議会提言書

令和5年10月3日 予算決算委員会

事業名	母子保健指導（あかちゃん訪問・養育支援訪問・産後ケア事業）に関する事業
事業概要	妊娠期から切れ目のない支援を実施するため、あかちゃん訪問、養育支援訪問、産後ケア事業等を実施する。
提言内容	
<p>1 養育支援訪問の実施延べ数及び産後ケア事業の利用実数が年々増加傾向にある。</p> <p>その要因の一つとして、近年の核家族化により身近に相談相手がおらず、育児ストレスを抱える妊産婦が増加しているという点が挙げられる。そこで、妊産婦が地域の保健センターにいる担当保健師との信頼関係を構築でき、妊娠届出の時点から産後にかけて担当保健師が妊産婦の身近な相談相手となれるような仕組みを整えていただきたい。</p> <p>2 妊産婦が行政サービスを利用しやすくなるように、妊娠から産後にかけて受けられる行政サービスの情報が市HPで一目瞭然に分かるよう整備していただきたい。</p> <p>また、当該情報をA4両面程度に分かりやすくまとめたチラシ等を作成し、妊娠届出やあかちゃん訪問等の際に配布していただきたい。</p>	

予算決算委員会福祉保健分科会

提言に対する対応

1 妊産婦が地域の保健センターにいる担当保健師との信頼関係を構築でき、担当保健師が身近な相談相手となれるような仕組みを整えることについて、妊婦が妊娠届出時に担当、副担当保健師の名前と担当保健師の(絵の)顔やメッセージを記載したカード(別添1参照)を渡し、担当保健師が分かるようにすることで妊産婦の身近な相談相手になれるようにした。

また、母子健康手帳交付の約8割が市役所での交付状況から、地域の保健センターについてのアンケートを194人に実施した。「自分の住んでいる地区の担当保健センターがどこか知っているか？」の問いに、「知っている」が113名で58.2%、「知らない」が81名で41.8%だったため、上記カードを渡し周知を強化していく。(健康増進課)

2 妊産婦が行政サービスを利用しやすくなるように、妊娠から産後にかけて受けられる行政サービスの情報が市HPで一目瞭然に分かるよう整備することについて、現在ある子育てナビを前面に出し分かりやすく改修するようにした。(改修中)

また、当該情報をA4両面程度に分かりやすくまとめたチラシ等を作成し、妊娠届出やあかちゃん訪問等の際に配布していただきたいことについて、現在使用している「妊娠・出産編」(別添2参照)と、「出産子育て編」(別添3参照)を追加作成して、受けられる行政サービスの情報をそれぞれ1枚の用紙にまとめたチラシを配布することにした。(健康増進課)

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

担当保健師との信頼関係構築と情報の一元化は、妊娠・出産と産後の子育てに不安や悩みがある相談者にとって、地域の保健センターに身近な相談相手となる担当保健師がいてくれること、また、どのような制度が利用できるかを、必要な時に直ぐに確認できることが、必ずや心強い施策になると確信している。

また、アンケート調査で自分の住んでいる地区の担当保健センターがどこか知らない割合が高かったことから、「地域保健センターの周知の強化」に期待する。

そのため、引き続き調査継続をお願いしたい。

(福祉保健分科会)